

日本海を越えていく



伝統、創造、進化！

校長 沼崎 幸治

＜伝統＞

栗島浦小中学校は、今年で133年を迎えます。学校が設立されたのは明治25(1892)年です。ちなみに、同じ年に生まれた著名人は小説家の芥川龍之介、双子のおばあちゃんでも有名だった、きんさん・ぎんさんです。設立当時は、民家を借りて授業をしていたそうです。現在の校舎は、昭和 55 年に建てられ、今年で45年目を迎えます。それ以前は木造校舎で、場所を変えながら何度も建て替えられました。「校舎を建てるお金をつくるために、鮑を売るなどして大変苦労した」という記録が残されています。いい環境で学習をさせたいという村民の皆さんの願いや子供たちへの深い愛情が伝わってきます。

昭和42年にグラウンドがつくられます。それまでは、砂浜や学校の前の空き地で運動をしていました。23軒のお家の方が「教育のためなら」と畑等であった土地を提供してくださいました。平成2年になるとグラウンドの砂場と国旗掲揚塔が作られました。体育館は、昭和49年に作られ、平成 10 年には体育館のグランドピアノが購入され、大学の先生を招いてのピアノ開きが行われました。

校歌は昭和 38 年にできました。当時、当校に勤務されていた安藤潔先生が作詞をされたのですが、次のようなお話が残されています。

昭和37年に中学3年生が、東京へ修学旅行に行きました。上野駅で貸し切りバスに乗り込んだのですが、生徒は疲れと緊張感からだんまりしていたそうです。そのとき、バスガイドさんが元気づけようと「みんなで校歌を歌おう」と言ってくれたそうです。しかし、そのとき校歌がなかったので、生徒はガイドさんの言葉に応えることができず、下を向いていたそうです。その様子を見ていた安藤先生が校歌を作ることを決心し、学校に帰って作詞を始めました。テーマは「日本海を越える」です。そして、「次のような人になってほしい」という願いを詩にしました。

みんなが仲良く、強い意志を持ち、勇気を持って行動する、そして海を渡って自分を磨き、いつか大きな人になって日本や栗島に戻ってきてほしい。世界を日本を栗島をよりよくする人になってほしい。
(「あわしま風土紀」より一部抜粋)

新潟大学の小山先生が「栗島の子供たちのためなら」と曲をつけてくださり、翌年、島まで来られて校歌を歌う指導もしてくださいました。

このように、栗島浦小中学校は、多くの方から支えられ、愛されてきたことがわかります。多くの人の願いが詰まったこの学舎で、子供たちには大いに学習に励んでもらいたいです。そして、世界、日本、栗島の未来を創る、たくましい人に成長してほしいと願います。
(創立記念の校長講話より)

＜創造、進化＞

島びらき、今年のソーランは「大きな振り、大きな声、笑顔」をテーマに掲げ、力いっぱい踊りを披露することができました。3年生のリーダーを中心に自分たちで創り上げたソーランです。ワカメやクッキーの販売も大盛況でした。さらに、小学生も「栗島のよさを伝えよう」というねらいで、牧場の紹介を兼ねた缶バッジの販売やミニ観光案内所の設置をおこないました。「コミュニケーション能力」を高めることを心がけ、大きな声で観光客と接する姿があちこちで見られ、島びらきを盛り上げることができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後の子どもたちの活動にさらなる進化をご期待ください。

ご挨拶

PTA会長 様

今年度のPTA会長の「 」と申します。何卒よろしくお願いいたします。

今年度がスタートしてから一か月半が経ち、児童生徒も少しずつ新しい環境に慣れてきた頃ではないかと思います。この間にあった「わかめ作業」や島びらきでの「ソーランの披露」では、終了後の充実した表情がとても印象的でした。今後も学校生活を楽しみながら、大きく成長してもらいたいと思っています。

わかめ作業では地域の皆様からもご協力をいただき、大変ありがとうございました。今年度も学校・家庭・地域のつながりを大切にして、PTAとしても子どもたちが成長できるようサポートしていきたいと思っています。皆様からのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

島びらき

5月2日（金）、3日（土）に粟島浦の「島びらき」が行われ、生徒も参加し、両日ともに「島っ子ソーラン」を披露しました。3日（土）は小学生は、馬の缶バッジの販売と総合的な学習の一環で、各学年で粟島の紹介やどの都道府県から来ているかを調べる活動を行いました。中学生は、わかめと卒業生が発案したクッキーの販売を行い、すべて完売しました。粟島の良さを発信し、島外の方がまた粟島に来たいと思える取組でした。



児童生徒総会

5月14日（水）に児童生徒総会が行われました。令和7年度児童生徒会スローガンは、

『Let's 笑 time!〜リスペクトが生む笑顔の架橋〜』

（児童生徒玄関に掲示してありますので、ご来校の際はぜひご覧ください）に決まりました。総会当日までに総務部、保健図書委員会では、リーダーを中心に今年度の生徒会活動が有意義になるように一人一人意見を出し合って決めてきました。今年度は、グループに分かれ、各委員会のリーダーの話を聞きに回るスタイルで行いました。リーダーの説明に真剣に耳を傾け、自分事としてとらえることができました。最後にクラス会議を行い、「他学年との交流を増やすためにできることは？」について各学年で考えました。少人数だからこそ、他学年との交流はとても大切です。みんなが今年度の粟島浦小中学校について考える、大変良い機会となりました。



6月の予定

1日(日) PTA わっぱ煮会	16日(月) 専門委員会
2日(月) 全校集会(激励会)、体力テスト週間	17日(火) 大謀網体験
3日(火) 情報モラル研修	18日(水) 小:交流学习・社会見学
4日(水) 小クラブ活動	20日(金) 下越大会②
5日(木) 村防災訓練	21日(土) 下越大会③
6日(金) 下越大会①、歯科検診	23日(月) いじめ見逃しゼロ集会
9日(月) スクールカウンセラー勤務日、租税教室	24日(火) 浜清掃
11日(水) 栗小フェスティバル	25日(水) 大阪万博研修(～27日)
15日(日) クリーンアップ作戦	30日(月) スクールカウンセラー勤務日、 発育測定週間